

使用開始日 2023年2月22日

投資信託説明書(交付目論見書)

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・リアル・コース／
米ドル・コース／通貨セレクト・コース

追加型投信／海外／株式



ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読み下さい。

■委託会社(ファンドの運用の指図等を行ないます。)

大和アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

■受託会社(ファンドの財産の保管、管理等を行ないます。)

株式会社りそな銀行

■委託会社の照会先



ホームページ

<https://www.daiwa-am.co.jp/>



コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)

0120-106212



■ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。また、本書には約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載されています。

■本文書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

◆以下、各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ファンドの名称	略称
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 日本円・コース	日本円・コース
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 豪ドル・コース	豪ドル・コース
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース	ブラジル・リアル・コース
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 米ドル・コース	米ドル・コース
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース	通貨セレクト・コース

◆上記の総称を「通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型」とします。

ファンド名	商品分類			属性区分				
	単位型・ 追加型	投資対象 地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象 地域	投資形態	為替ヘッジ
日本円・コース	追加型	海外	株式	その他資産 (投資信託証券 (株式 一般))	年4回	北米	ファンド・ オブ・ ファンズ	あり (フルヘッジ)
豪ドル・コース								なし
ブラジル・リアル・ コース								
米ドル・コース								
通貨セレクト・ コース								

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

※商品分類・属性区分の定義について

くわしくは、一般社団法人投資信託協会のホームページ[<http://www.toushin.or.jp/>]をご参照下さい。

〈 委 託 会 社 の 情 報 〉

委 託 会 社 名	大和アセットマネジメント株式会社
設 立 年 月 日	1959年12月12日
資 本 金	151億74百万円
運用する投資信託財産の 合 計 純 資 産 総 額	23兆212億87百万円

(2022年11月末現在)

- 本文書により行なう「通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により、有価証券届出書を2023年2月21日に関東財務局長に提出しており、2023年2月22日にその届出の効力が生じています。
- 当ファンドは、商品内容に関して重大な変更を行なう場合に、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき、事前に受益者の意向を確認する手続きを行ないます。
- 当ファンドの信託財産は、受託会社により保管されますが、信託法によって受託会社の固有財産等との分別管理等が義務付けられています。
- 請求目論見書は、投資者の請求により販売会社から交付されます(請求を行なった場合には、その旨をご自身で記録しておくようにして下さい)。

ファンドの目的

米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色



米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資します。

① 株主および経営者の視点から本源的価値を算出

② 本源的価値から著しく割安と判断される銘柄に投資



為替取引を活用します。

◆以下の5つのコースがあり、「米ドル・コース」を除き、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／対象通貨買いの為替取引を行ないます。


日本円・コース
米ドル売り／日本円買い


豪ドル・コース
米ドル売り／豪ドル買い


ブラジル・レアル・コース
米ドル売り／ブラジル・レアル買い


米ドル・コース


通貨セレクト・コース
米ドル売り／選定通貨買い

(注)5つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。



毎年2、5、8、11月の各28日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、基準価額に応じた分配金の支払いをめざします。

※基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。



米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資します。

※DR(預託証券)を含みます。



割安な銘柄へ投資します。

① 株主および経営者の視点から本源的価値を算出

- ◆対象企業の企業価値がいくらになるかを、フリーキャッシュフローなどに着目し独自に算出
- ◆「質の高い」魅力的なビジネスを行なっているかを検討
- ◆実地調査を含む詳細な対象企業の分析を必ず実施

② 本源的価値から著しく割安と判断される銘柄に投資

※本源的価値とは、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。



約20銘柄を厳選し、集中投資します。

[株式の運用について]

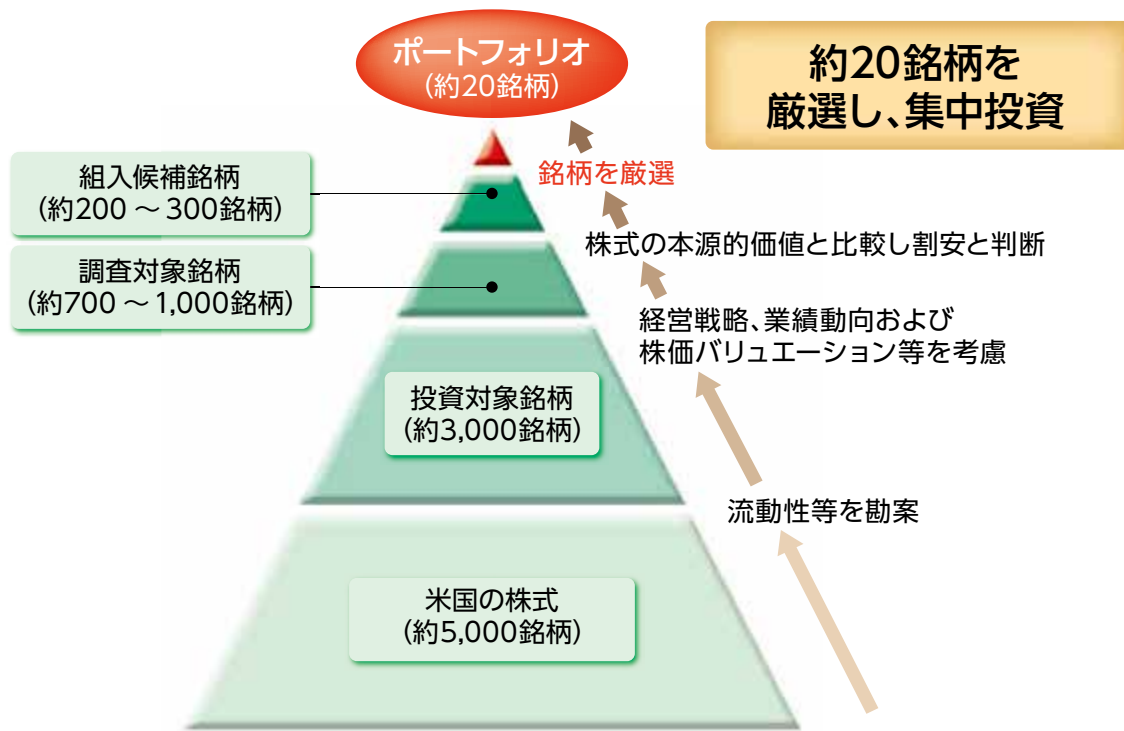
- ◆株式の運用は、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが行ないます。

運用にあたっては、以下の方針を基本とします。

- 米国の株式の中から流動性等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。
- 投資対象銘柄から、個別企業の経営戦略、業績動向および株価バリュエーション等を考慮し、調査対象銘柄を決定します。
- 調査対象銘柄に対して企業訪問による調査や綿密な財務分析等を行ない、株式の本源的価値と比較して割安と判断される銘柄を組入候補銘柄とします。
- 組入候補銘柄から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。

*DR: Depositary Receiptの略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。また、通常は、預託された株式の通貨とは異なる通貨で取引されます。

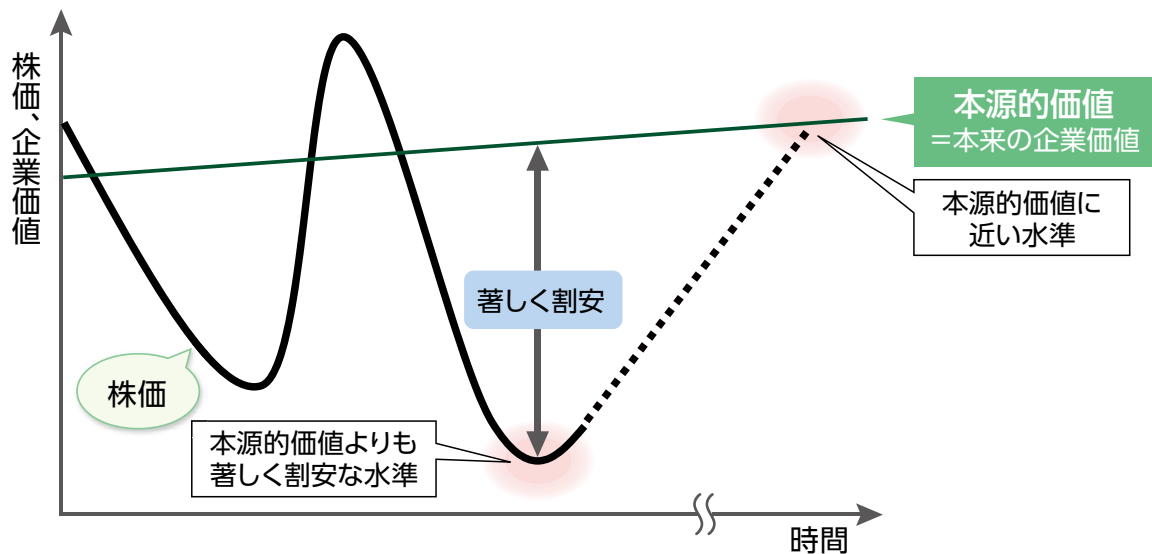
ポートフォリオ構築のイメージ



※銘柄数は2022年11月末現在のものであり、変更となる場合があります。

企業の本源的価値と株価 (イメージ)

- ◆ 株価は、短期的には投資家の心理を反映しますが、長期的には、その企業の本源的価値を反映すると考えています。
- ◆ 投資にあたっては、株価が本源的価値よりも著しく割安な水準で買付け、本源的価値に近い水準で売却する方針です。








※上記は、実際の株価、企業価値の水準や変動を示唆、保証するものではありません。
 ※上記の方針どおりに買付け、売却できることを示唆、保証するものではありません。
 ※上記は、当ファンドの投資成果を示唆、保証するものではありません。



為替取引を活用します。

- ◆当ファンドには次の5つのコースがあり、「米ドル・コース」を除き、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／対象通貨買いの為替取引を行ないます。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
 日本円・コース	米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／日本円買い	日本円
 豪ドル・コース	米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／豪ドル買い	豪ドル
 ブラジル・リアル・コース	米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／ブラジル・リアル買い	ブラジル・リアル
 米ドル・コース	—————	—————
 通貨セレクト・コース	米ドル建ての資産に対して 米ドル売り／選定通貨買い	選定通貨

※5つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

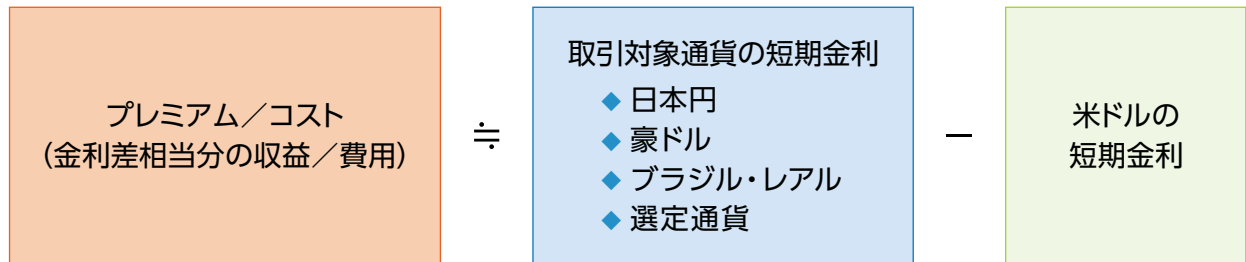
- ◆「米ドル・コース」以外の各コースでは、為替取引を行なうことにより、「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)／コスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
- ◆「日本円・コース」、「米ドル・コース」以外の各コースでは、為替取引の対象通貨の対円レートの上昇(円安)／下落(円高)により、為替差益／為替差損が生じます。
- ◆「米ドル・コース」では、米ドルの対円レートの上昇(円安)／下落(円高)により、為替差益／為替差損が生じます。
- ◆「日本円・コース」では、為替変動リスクの低減を図ります。
ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
- ◆「通貨セレクト・コース」において、選定通貨とは、以下の**「通貨の運用方針」**により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。
また、大和アセットマネジメント株式会社が投資顧問会社として通貨の選定および配分比率を決定します。

「通貨の運用方針」

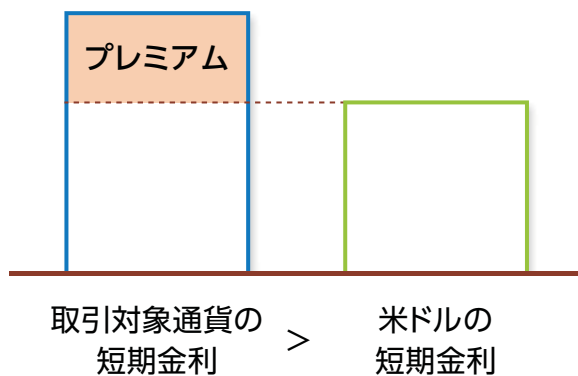
- 原則として、「FTSE世界国債インデックス」および「JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。
※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。
- 選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- 選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)／コスト(金利差相当分の費用)について

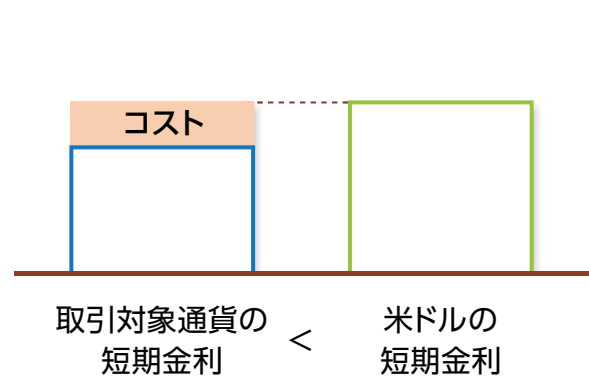
- ◆ 為替取引の対象通貨の短期金利が、米ドルの短期金利よりも高い場合、「プレミアム(金利差相当分の収益)」が期待できます。
- ◆ 為替取引の対象通貨の短期金利が、米ドルの短期金利よりも低い場合、「コスト(金利差相当分の費用)」が生じます。



● プレミアムが期待できるケース



● コストが生じるケース



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

※実際の為替取引によるプレミアム／コストの水準は、需給要因等によって金利差相当分とは異なる水準となり、プレミアムの縮小、コストの拡大が生じることがあります。

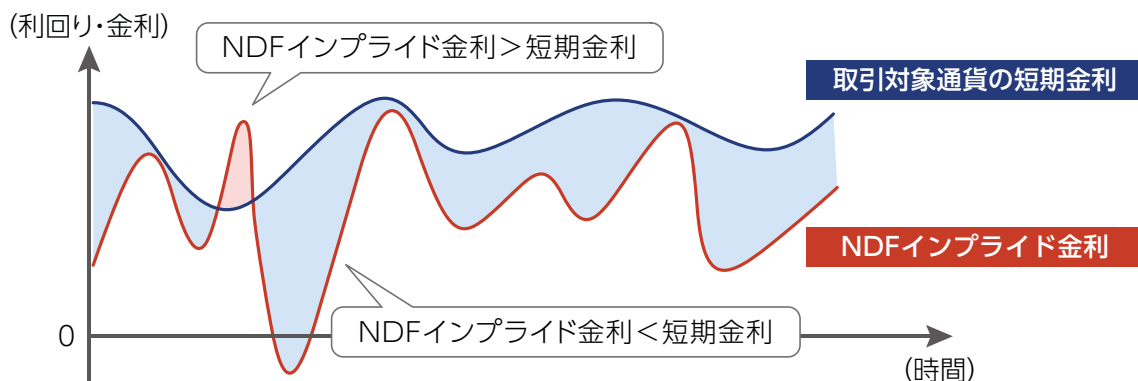
※取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行なう際に**NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引**を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム／コストは、需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

ファンドの目的・特色

NDF取引とは

- ◆ 取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆ NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き(裁定)が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、**取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。**

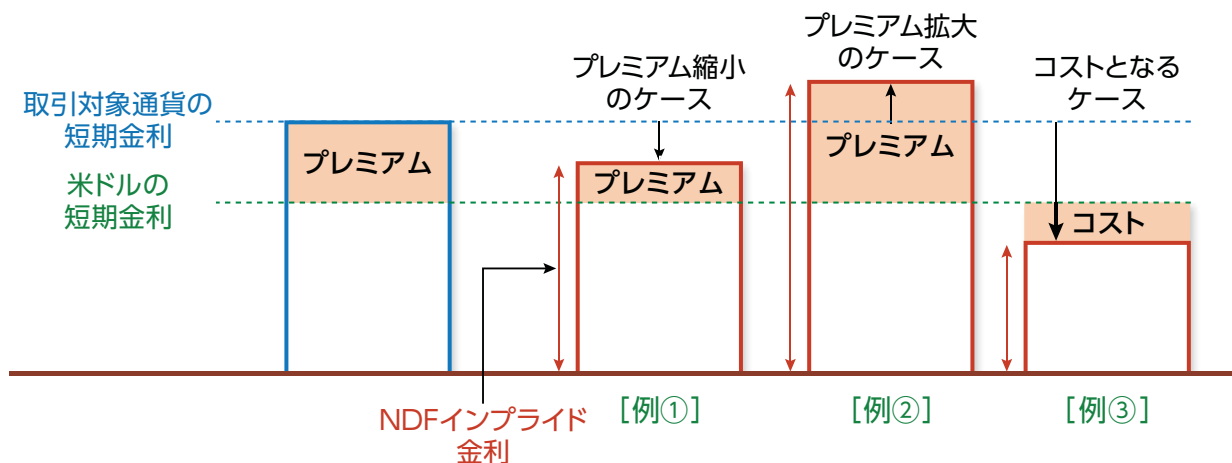
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆ 市場参加者の通貨上昇(下落)期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く(高く)なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く(高く)なると、**為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)**が縮小【例①】(拡大【例②】)し、場合によっては**為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)**となるケース【例③】もあります。



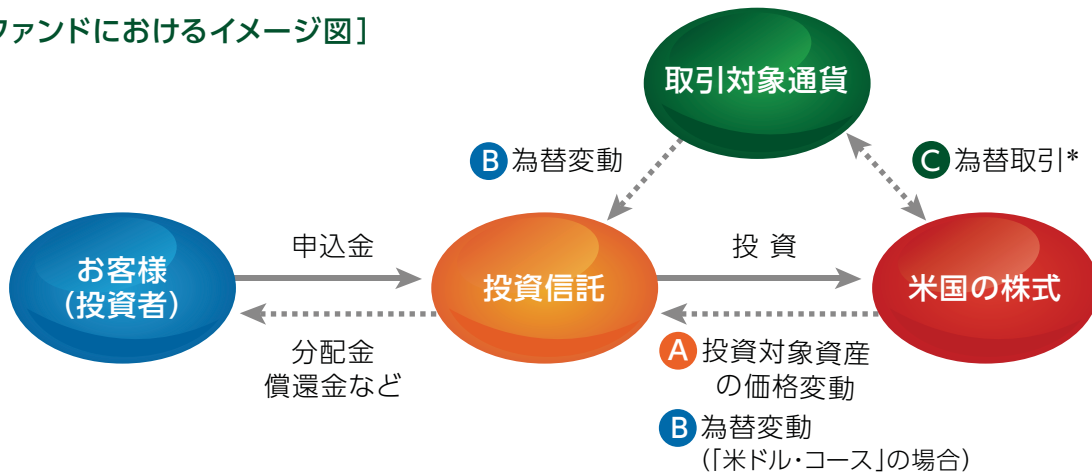
※上記はイメージであり、実際のプレミアム/コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- ◆通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

[当ファンドにおけるイメージ図]



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- ◆当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

	A	B	(注) C
収益の源泉	米国の株式の配当、 値上がり/値下がり	為替差益/差損	為替取引による プレミアム/コスト (金利差相当分の収益/費用)
収益を得られる ケース	 株価の上昇、配当収入	 為替差益の発生	 プレミアム (金利差相当分の収益) の発生
損失や コストが 発生する ケース	 株価の下落	 為替差損の発生	 コスト (金利差相当分の費用) の発生

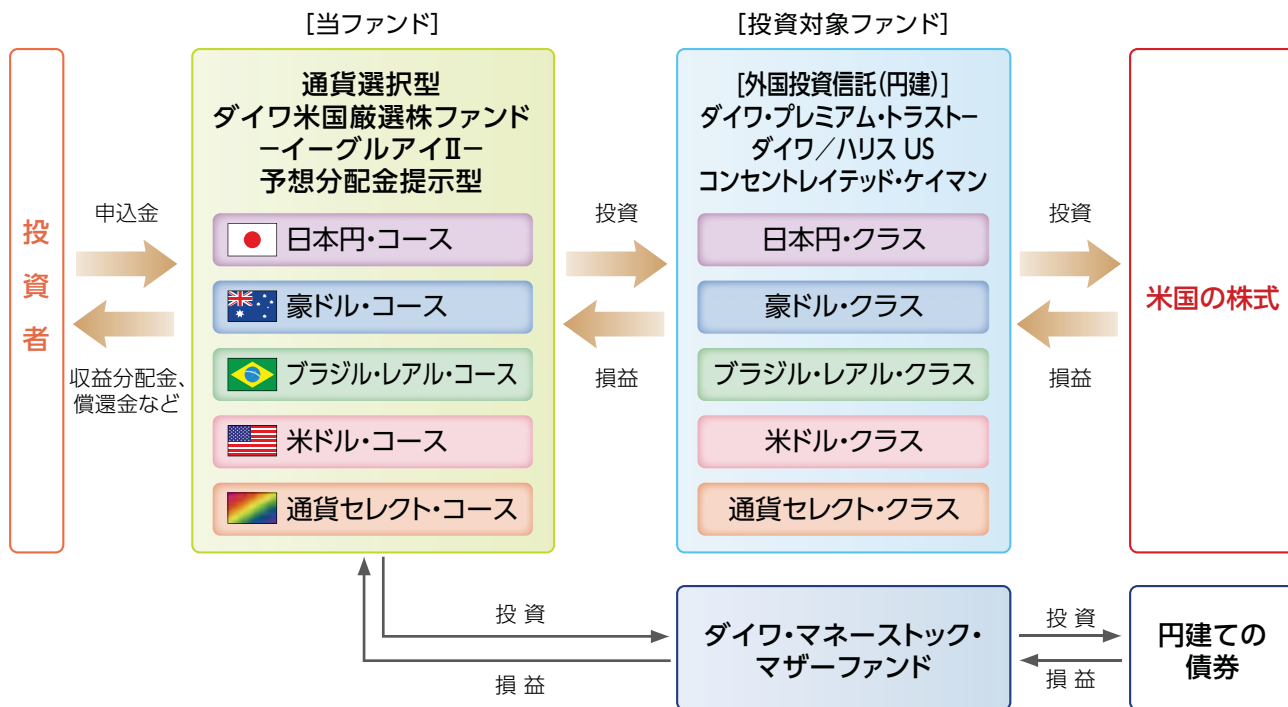
(注) 取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム/コストは、需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

ファンドの目的・特色

ファンドの仕組み

- ◆当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- ◆外国投資信託の受益証券を通じて、米国の株式に投資します。



※5つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

※投資対象ファンドについて、くわしくは、「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。

- 当ファンドは、通常の状態では、投資対象とする外国投資信託への投資割合を高位に維持することを基本とします。
- 大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.および2.の運用が行なわれないことがあります。

主な投資制限

- 株式への直接投資は、行ないません。
- 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
- 外貨建資産への直接投資は、行ないません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。



毎年2、5、8、11月の各28日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、基準価額に応じた分配金の支払いをめざします。

※基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。

[分配方針]

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、分配対象額の範囲内で、下記に基づき分配します。
 ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

- 計算期末の前営業日の基準価額に応じ、下記の金額の分配をめざします。

計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、下記の分配を行わないことがあります。

計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
10,500円未満	配当収入等相当分(経費控除後) ^(注)
10,500円以上11,000円未満	300円
11,000円以上11,500円未満	350円
11,500円以上12,000円未満	400円
12,000円以上12,500円未満	450円
12,500円以上	500円

(注) 主要投資対象とする外国投資信託における配当収入相当分から、投資者が実質的に負担する運用管理費用を控除した額に、為替取引によるプレミアム/コスト(金利差相当分の収益/費用)を勘案した額をいいます。

※米ドル・コースは「為替取引によるプレミアム/コスト」が生じません。

※基準価額に応じて、四半期ごとの分配金額は変動します。基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。
 ※分配により基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

収益分配のイメージ



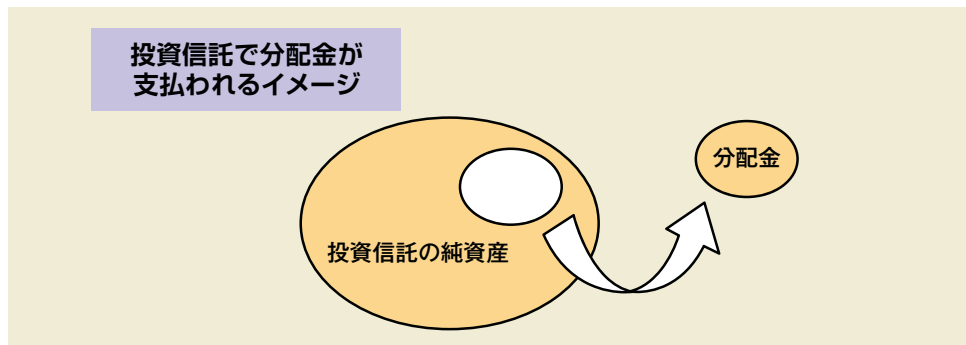
※上記は、四半期ごとの分配金額が変動する場合があることを表したイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。

[収益分配金に関する留意事項]

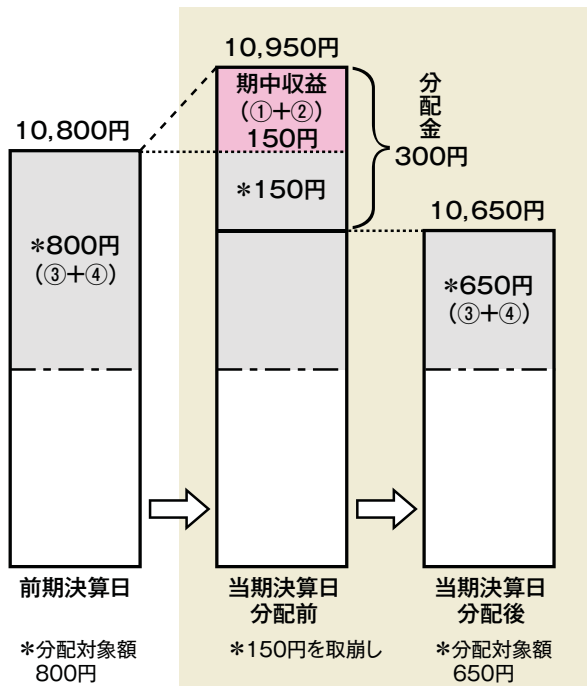
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



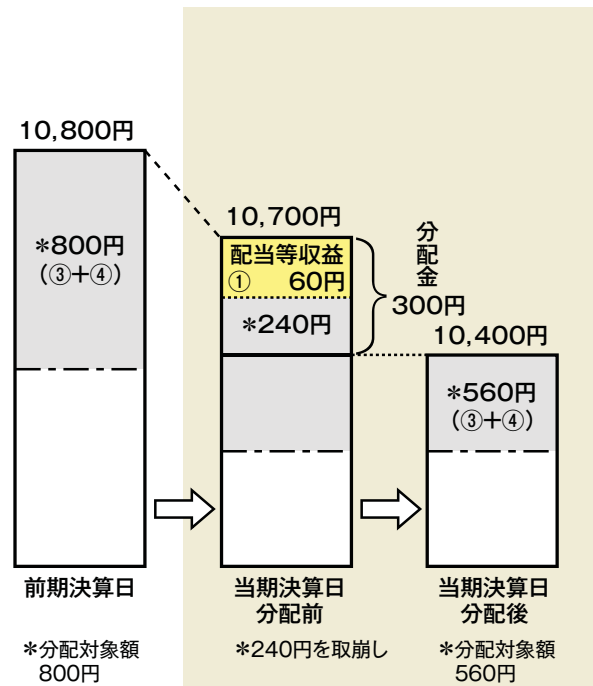
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(注)「手続・手数料等」の「税金」の部分にイメージ図を記載。

[投資対象ファンドの概要]

1. ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン 日本円・クラス
 ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン 豪ドル・クラス
 ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン ブラジル・リアル・クラス
 ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン 米ドル・クラス
 ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン 通貨セレクト・クラス

形態 / 表示通貨	ケイマン籍の外国投資信託 / 円建								
運用の基本方針	<p>主として、米国の株式*の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行ない*、信託財産の成長をめざします。</p> <p>※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）をいいます。</p> <p>*「米ドル・クラス」を除きます。</p>								
主な運用方針	<p>1. 主として、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。</p> <p>2. 株式の運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国の株式の中から流動性等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。 ・投資対象銘柄から、個別企業の経営戦略、業績動向および株価バリュエーション等を考慮し、調査対象銘柄を決定します。 ・調査対象銘柄に対して企業訪問による調査や綿密な財務分析等を行ない、株式の本源的価値*と比較して割安と判断される銘柄を組入候補銘柄とします。 ※株式の本源的価値とは、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーが独自に評価した企業本来の価値をいいます。 ・組入候補銘柄から銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。 <p>3. 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。</p> <p>4. 原則として、米ドル建ての資産に対して、外国為替予約取引およびNDF取引等を活用し、各クラスで以下の為替取引を行ないます。（「米ドル・クラス」は、原則として、米ドル建ての資産に対して、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは行ないません。）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #d9ead3; padding: 5px;">日本円・クラス</td> <td style="padding: 5px;">米ドル売り / 日本円買い</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9ead3; padding: 5px;">豪ドル・クラス</td> <td style="padding: 5px;">米ドル売り / 豪ドル買い</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9ead3; padding: 5px;">ブラジル・リアル・クラス</td> <td style="padding: 5px;">米ドル売り / ブラジル・リアル買い</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d9ead3; padding: 5px;">通貨セレクト・クラス</td> <td style="padding: 5px;">米ドル売り / 選定通貨買い</td> </tr> </table> <p>[通貨セレクト・クラスについて]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和アセットマネジメント株式会社が投資顧問会社として通貨の選定および配分比率を決定します。 ※選定通貨とは、投資顧問会社が決定した複数の通貨をいいます。 <p>[通貨セレクト・クラスにおける通貨の運用方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として、FTSE世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。 ※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。 ・選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。 ・選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直しします。 	日本円・クラス	米ドル売り / 日本円買い	豪ドル・クラス	米ドル売り / 豪ドル買い	ブラジル・リアル・クラス	米ドル売り / ブラジル・リアル買い	通貨セレクト・クラス	米ドル売り / 選定通貨買い
日本円・クラス	米ドル売り / 日本円買い								
豪ドル・クラス	米ドル売り / 豪ドル買い								
ブラジル・リアル・クラス	米ドル売り / ブラジル・リアル買い								
通貨セレクト・クラス	米ドル売り / 選定通貨買い								
管理報酬等	<p>[日本円・クラス、豪ドル・クラス、ブラジル・リアル・クラス]純資産総額に対して年率0.69%程度 [米ドル・クラス]純資産総額に対して年率0.65%程度 [通貨セレクト・クラス]純資産総額に対して年率0.81%程度</p> <p>ただし、この他に「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン」に対して、固定報酬として年額13,500米ドルがかかります。また、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、投資対象ファンドの運営に必要な各種経費がかかります。</p>								
投資顧問会社	ハリス・アソシエイツ・エル・ピー								
投資顧問会社*	大和アセットマネジメント株式会社 *「米ドル・クラス」を除きます。								

ハリス・アソシエイツ・エル・ピーについて

- 1976年に米国のシカゴで設立
- 本源的価値よりも著しく割安で取引されている優良企業を徹底したリサーチで特定
- 株主および経営者の視点から一貫性のある長期投資を実践
- 投下資金の長期的な成長を重視

2. ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用の基本方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主な投資態度	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
運用管理費用 (信託報酬)	かかりません。
委託会社	大和アセットマネジメント株式会社



基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

主な変動要因

<p>株 価 の 変 動 (価格変動リスク・ 信用リスク)</p>	<p>株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。</p> <p>当ファンドは、一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があり、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。</p> <p>新興国の株式は、先進国の株式に比べ、一般に取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。</p>
<p>為 替 変 動 リ ス ク</p>	<p>[日本円・コース]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。 ・日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。 <p>[豪ドル・コース、ブラジル・リアル・コース、通貨セレクト・コース]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。 ・投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。また、取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。 <p>[米ドル・コース]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 <p>※各ファンドの投資対象である外国投資信託において、NDF取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。</p>
<p>カ ン ト リ ー ・ リ ス ク</p>	<p>投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となる場合があります。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。</p>

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

リスクの管理体制

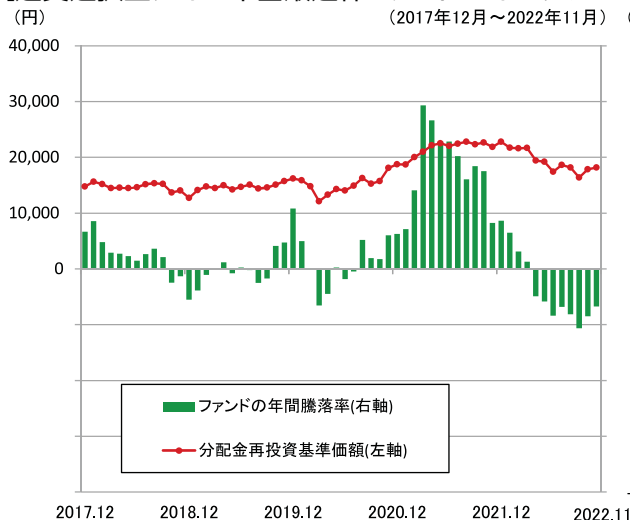
- 委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通し、運用リスクの管理を行ないます。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行ないます。
- 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

参考情報

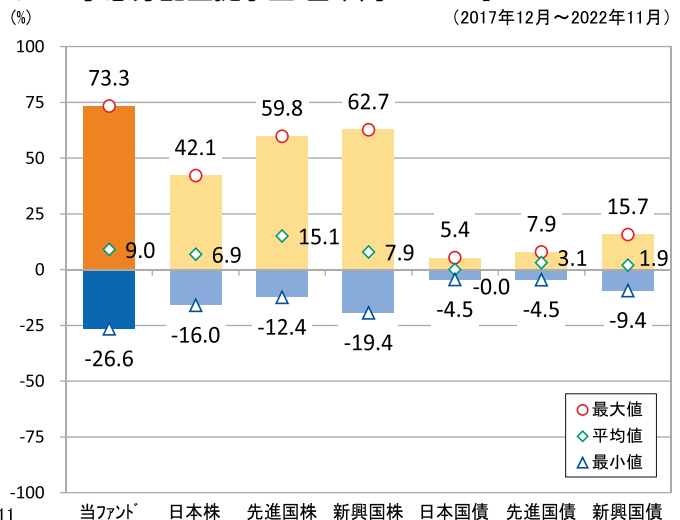
- 下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。右のグラフは過去5年間に於ける年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。また左のグラフはファンドの過去5年間に於ける年間騰落率の推移を表示しています。

ファンドの年間騰落率と分配金再投資基準価額の推移

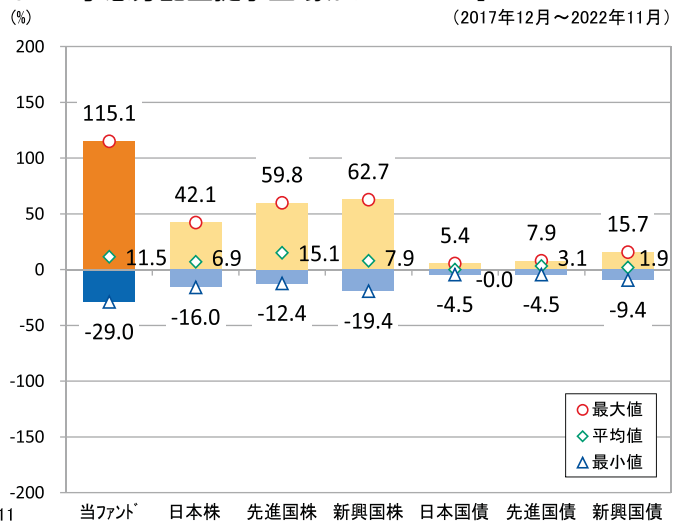
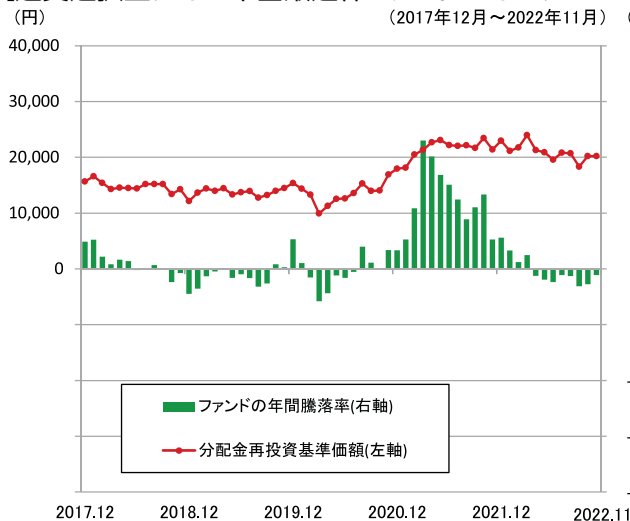
[通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース]



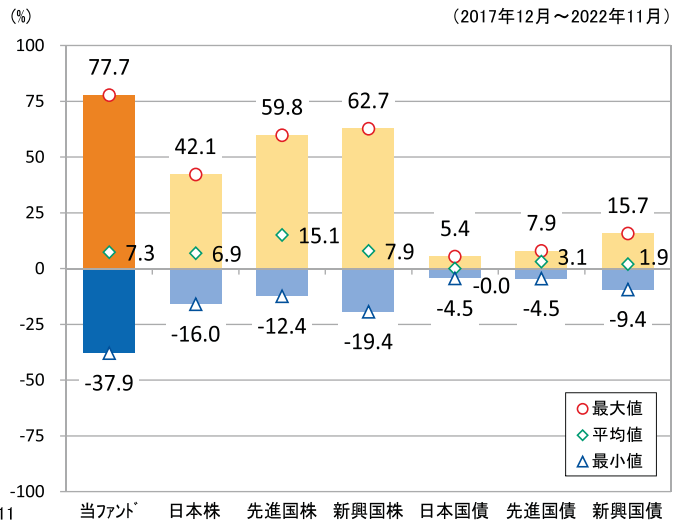
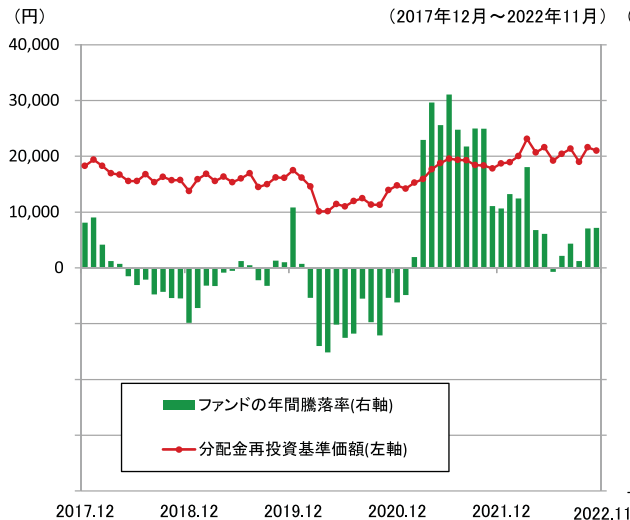
他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



[通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース]

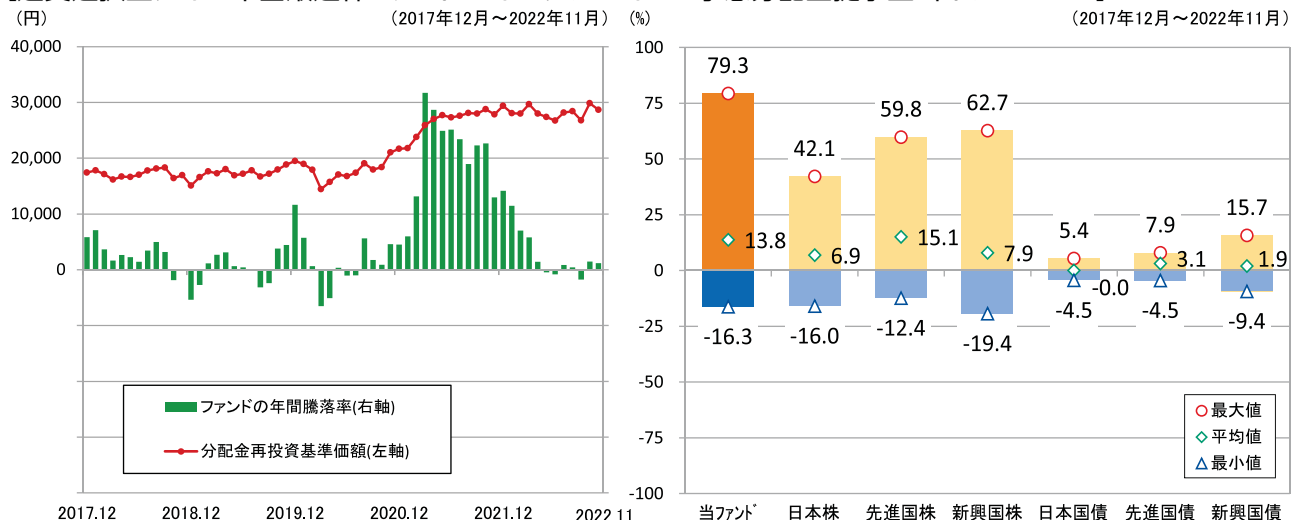


[通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース]

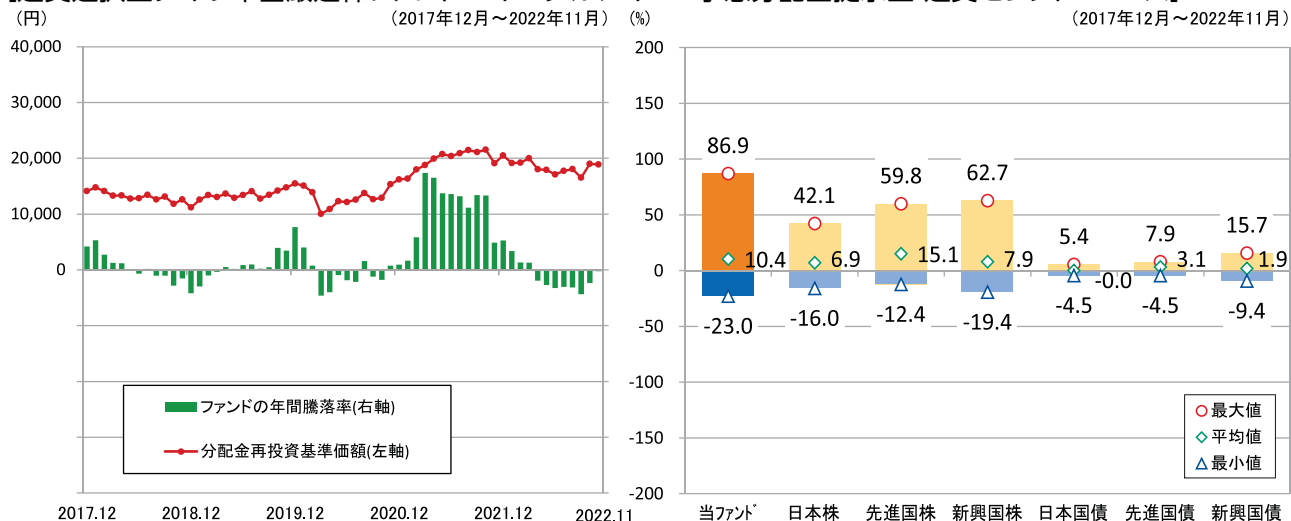


投資リスク

[通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース]



[通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース]



※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
 日本国債：NOMURA-BPI国債
 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
 新興国債：JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●東証株価指数（TOPIX）の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は同社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックスー エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

運用実績

● 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 日本円・コース

2022年11月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	9,430円
純資産総額	2.1億円

基準価額の騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	1.7%
3カ月間	0.0%
6カ月間	-5.4%
1年間	-16.9%
3年間	15.4%
5年間	24.9%
設定来	81.8%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 350円

設定来分配金合計額: 7,350円

決算期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期
	20年2月	20年5月	20年8月	20年11月	21年3月	21年5月	21年8月	21年11月	22年2月	22年5月	22年8月	22年11月
分配金	0円	0円	300円	400円	500円	500円	500円	450円	350円	0円	0円	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

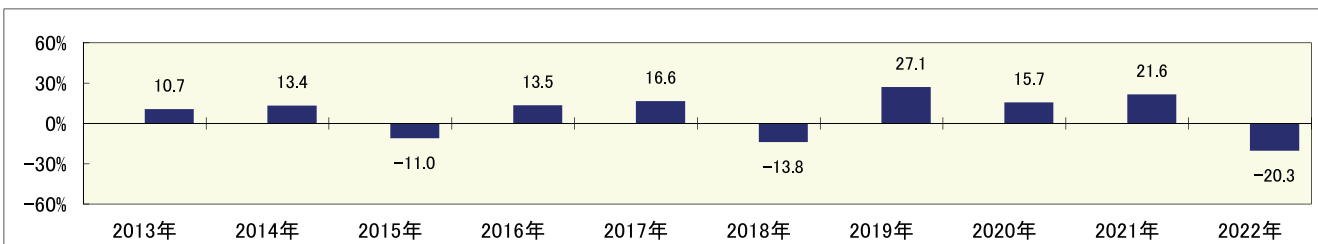
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド		
運用会社名	ファンド名	比率
ハリス・アソシエイツ・エル・ピー/大和アセットマネジメント	ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン(日本円・クラス)	99.1%
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0.1%
合計		99.2%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

・2013年は設定日(8月20日)から年末、2022年は11月30日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

● 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 豪ドル・コース

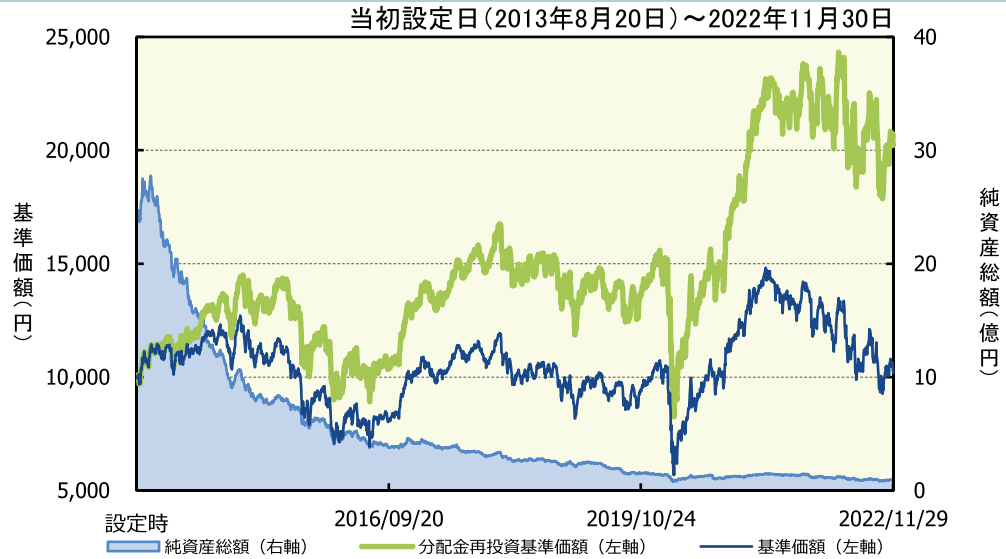
2022年11月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	10,197円
純資産総額	91百万円

基準価額の騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	-0.0%
3カ月間	-2.4%
6カ月間	-3.1%
1年間	-5.5%
3年間	39.6%
5年間	36.3%
設定来	102.3%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 1,450円 設定来分配金合計額: 7,990円

決算期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期
	20年2月	20年5月	20年8月	20年11月	21年3月	21年5月	21年8月	21年11月	22年2月	22年5月	22年8月	22年11月
分配金	0円	0円	0円	400円	500円	500円	500円	500円	400円	350円	400円	300円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

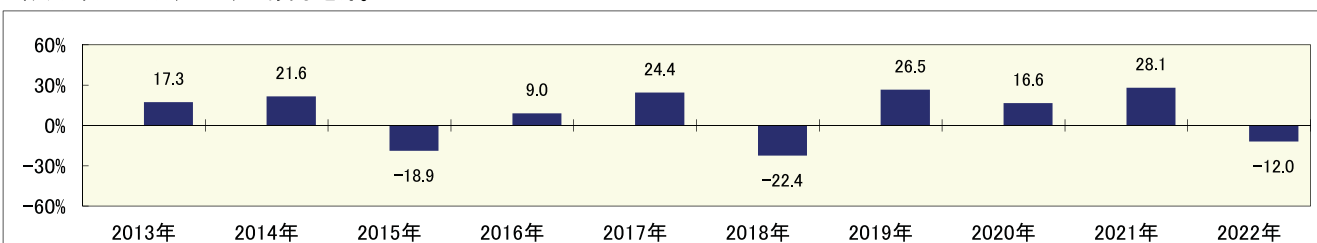
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド		
運用会社名	ファンド名	比率
ハリス・アソシエイツ・エル・ピー/大和アセットマネジメント	ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン(豪ドル・クラス)	95.3%
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0.2%
合計		95.5%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。
・2013年は設定日(8月20日)から年末、2022年は11月30日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

運用実績

● 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース

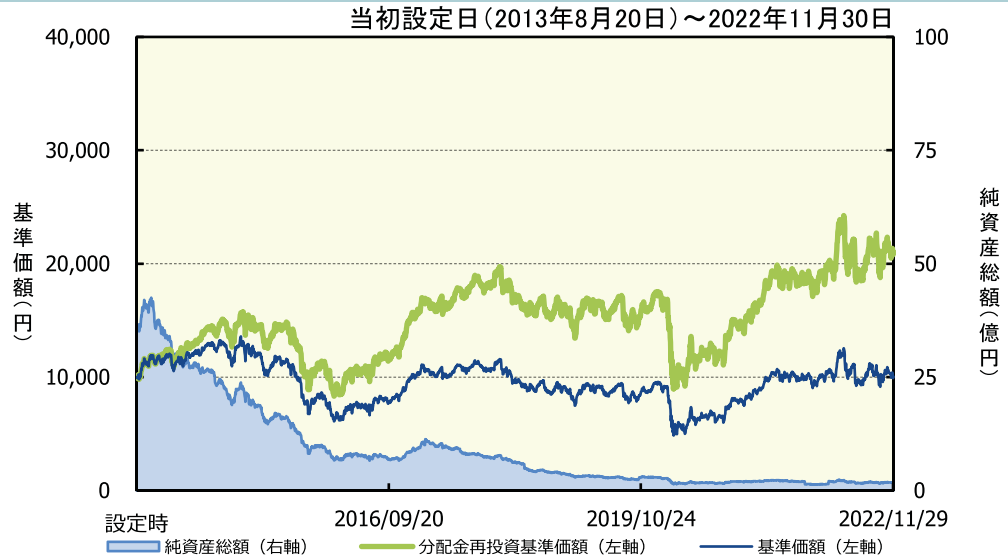
2022年11月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	10,039円
純資産総額	1.6億円

基準価額の騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	-2.7%
3カ月間	-1.7%
6カ月間	-2.8%
1年間	17.9%
3年間	30.4%
5年間	15.3%
設定来	110.3%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 1,060円 設定来分配金合計額: 7,610円

決算期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期
	20年2月	20年5月	20年8月	20年11月	21年3月	21年5月	21年8月	21年11月	22年2月	22年5月	22年8月	22年11月
分配金	20円	30円	10円	0円	0円	30円	70円	130円	220円	300円	350円	190円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

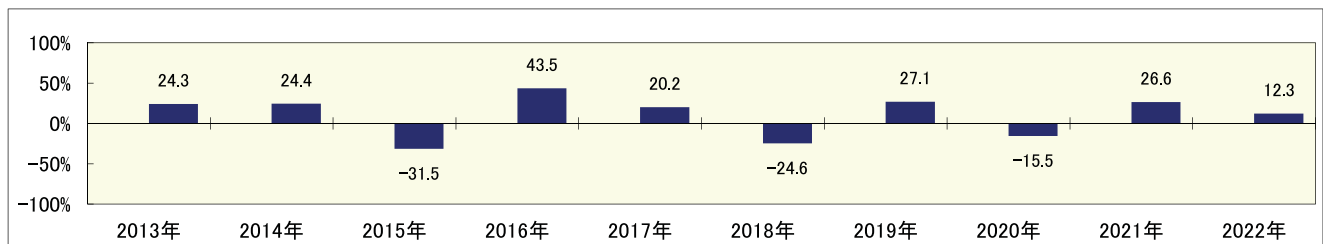
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド		
運用会社名	ファンド名	比率
ハリス・アソシエイツ・エル・ピー/大和アセットマネジメント	ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン(ブラジル・リアル・クラス)	96.9%
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0.2%
合計		97.1%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。
 ・2013年は設定日(8月20日)から年末、2022年は11月30日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

● 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 米ドル・コース

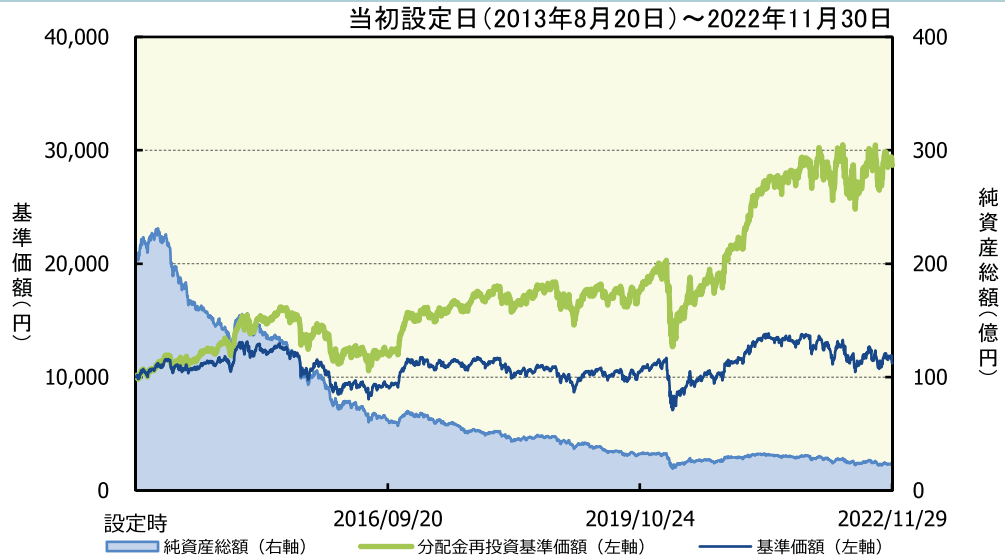
2022年11月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	11,213円
純資産総額	22億円

基準価額の騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	-4.0%
3カ月間	0.9%
6カ月間	4.7%
1年間	2.9%
3年間	52.0%
5年間	68.9%
設定来	186.8%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 1,700円 設定来分配金合計額: 10,950円

決算期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期
	20年2月	20年5月	20年8月	20年11月	21年3月	21年5月	21年8月	21年11月	22年2月	22年5月	22年8月	22年11月
分配金	300円	0円	300円	350円	500円	500円	500円	500円	450円	400円	450円	400円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

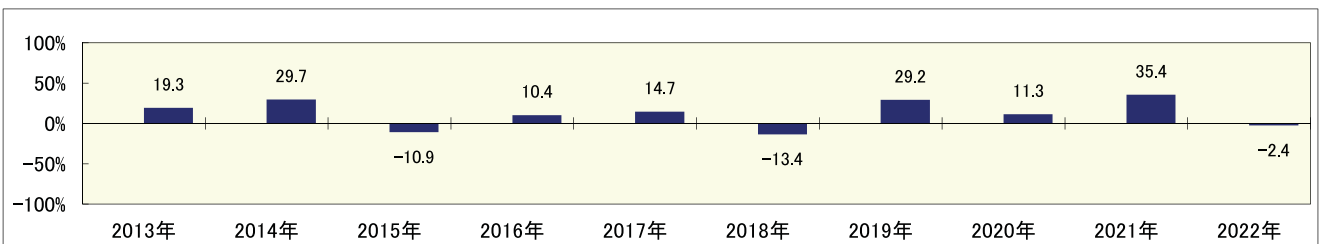
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド		
運用会社名	ファンド名	比率
ハリス・アソシエイツ・エル・ピー	ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン(米ドル・クラス)	97.5%
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0.1%
合計		97.6%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。
 ・2013年は設定日(8月20日)から年末、2022年は11月30日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

運用実績

● 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース

2022年11月30日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

基準価額	8,835円
純資産総額	5.4億円

基準価額の騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	-0.6%
3カ月間	4.4%
6カ月間	5.3%
1年間	-1.2%
3年間	27.7%
5年間	38.2%
設定来	88.8%



※上記の「基準価額の騰落率」とは、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

分配の推移 (10,000口当たり、税引前)

直近1年間分配金合計額: 580円 設定来分配金合計額: 7,190円

決算期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期
	20年2月	20年5月	20年8月	20年11月	21年3月	21年5月	21年8月	21年11月	22年2月	22年5月	22年8月	22年11月
分配金	80円	120円	80円	120円	300円	350円	350円	180円	170円	100円	170円	140円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

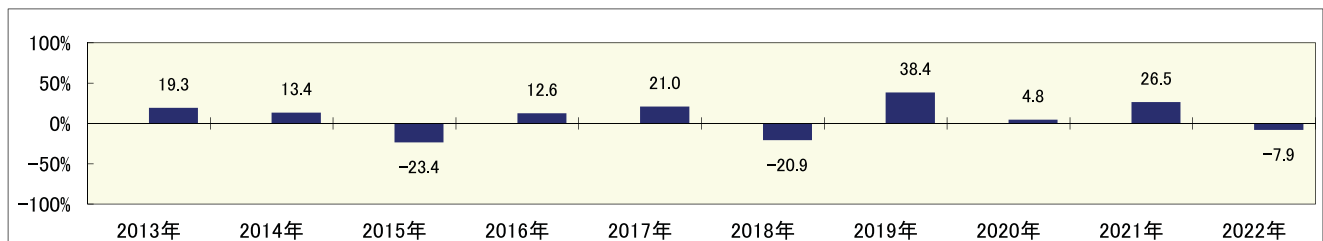
主要な資産の状況

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入上位10ファンド		
運用会社名	ファンド名	比率
ハリス・アソシエイツ・エル・ピー/大和アセットマネジメント	ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン(通貨セレクト・クラス)	98.5%
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0.1%
合計		98.6%

年間収益率の推移

当ファンドにはベンチマークはありません。



・ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。
 ・2013年は設定日(8月20日)から年末、2022年は11月30日までの騰落率を表しています。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

お申込みメモ

購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	① ニューヨークの銀行またはニューヨーク証券取引所のいずれかの休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 ※ただし、購入申込については、当ファンドの運営および受益者に与える影響を考慮して受け付けを行なうことがあります。 (注) 申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	午後3時まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの)
購入の申込期間	2023年2月22日から2023年8月24日まで
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受け付けを中止することがあります。
スイッチング(乗換え)	「日本円・コース」、「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」、「米ドル・コース」、「通貨セレクト・コース」の間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。
信託期間	2013年8月20日から2023年8月28日まで
繰上償還	●主要投資対象とする組入外国投資信託が存続しないこととなる場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させます。 ●次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 ・受益権の口数が30億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年2、5、8、11月の各28日(休業日の場合翌営業日)
収益分配	年4回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
信託金の限度額	各ファンドについて1,500億円
公 告	電子公告の方法により行ない、ホームページ[https://www.daiwa-am.co.jp/]に掲載します。
運用報告書	毎年5月および11月の計算期末ならびに償還時に作成し、交付運用報告書をあらかじめお申出いただいたご住所にお届けします。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。 ※2022年11月末現在のものであり、税法が改正された場合等には変更される場合があります。

ファンドの費用・税金

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

	料 率 等	費 用 の 内 容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 3.3% (税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

	料 率 等	費 用 の 内 容
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.2375% (税抜1.125%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配 分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.40%
	販売会社	年率0.70%
	受託会社	年率0.025%
投資対象とする 投資信託証券	「日本円・コース」、 「豪ドル・コース」、 「ブラジル・リアル・コース」 年率0.69%程度 「米ドル・コース」 年率0.65%程度 「通貨セレクト・コース」 年率0.81%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	「日本円・コース」、「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」 年率1.9275% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「米ドル・コース」 年率1.8875% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「通貨セレクト・コース」 年率2.0475% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) ※ただし、この他に「ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン」に対して、固定報酬として年額13,500米ドルがかかります。また、監査費用、弁護士費用、有価証券売買委託手数料等、投資対象ファンドの運営に必要な各種経費がかかります。	
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および 地方税	配当所得として課税 ^(注) 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および償還時	所得税および 地方税	譲渡所得として課税 ^(注) 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

(注)所得税、復興特別所得税および地方税が課されます。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称：ジュニアNISA(ジュニアニーサ)」をご利用の場合

毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方となります。くわしくは、販売会社にお問い合わせ下さい。

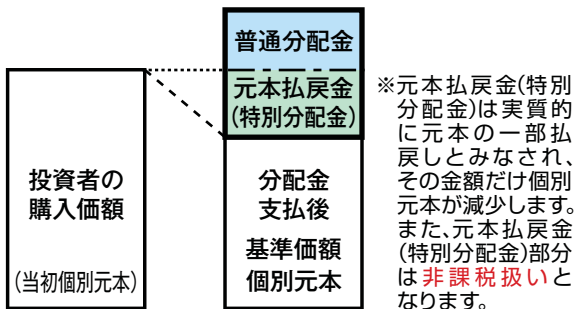
※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※上記は、2022年11月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

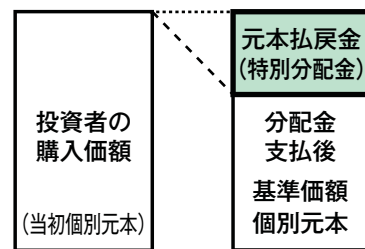
※法人の場合は上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金 … 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 … 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。